

第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて

1. 後期基本計画策定の趣旨

本市は、平成31年3月に「ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡」をめざす都市像とする「第2次鶴岡市総合計画」を策定した。

この総合計画では、めざす都市像やまちづくりの基本方針などを定めた「基本構想」と施策の基本的方向及び体系をまとめた「基本計画」から構成されており、「基本計画」については、必要に応じ5年をめぐりに見直すこととしている。

この間、地域を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う人口減少の進行や新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行、新型コロナを契機とした生活様式の変化や働き方の多様化、さらにはロシアのウクライナ侵攻などに伴う原油・原材料等の国際価格の高騰、日本海山形県沖地震をはじめとした自然災害の頻発化・激甚化など、内外の難局が同日かつ複合的に押し寄せている。

こうした社会経済情勢の変化を踏まえるとともに、本市が抱える課題に的確に対応し、地域資源を基盤として、デジタル化の推進などの未来につながる変化も捉えながら、市内外の活力を呼び込み、市民が暮らしやすさを実感し、将来にわたって持続可能なまちであり続けることを目指し、第2次総合計画後期基本計画を策定する。

2. 策定に向けた基本的な考え方

後期基本計画の策定に当たっては、社会経済情勢などの変化を踏まえ、市民意識の変化や地域の実態、課題等を明らかにするとともに、これまでに実施した施策の点検評価を行い、今後進めていく施策の方向性などについて、総合計画審議会、各専門委員会、庁内幹事会等を開催しながら検討を行う。

また、見直しに際しては、若者で構成される「鶴岡まちづくり塾プラス」、旧町村単位に設置されている「地域振興懇談会」の他にも、中高生をはじめとした若者の意見を把握するため、デジタルを活用したアンケートや市民ワークショップ、パブリックコメント等の手法により市民の参画を促し、対話や市民目線を重

視した計画策定に努める。

また、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に基づき、人口減少の克服、地方創生の実現をめざし策定した「鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体のものとして策定する。

これらの計画策定作業は、令和4年度から2か年で行い、令和5年度中の策定をめざす。

3. 総合計画の構成と計画期間

（1）構成

総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画をもって構成する。

① 基本構想

本市のめざす都市像とまちづくりの基本方針を明らかにし、それらを実現するための施策の大綱、計画の推進方針等を示す。

② 基本計画

基本構想に掲げる都市像を実現し、基本方針に沿ったまちづくりを行うため、施策の方向と主な施策、施策の達成度を測る成果指標（KPI）を設ける。基本計画は、必要に応じ5年間をめどに見直すことにする。

③ 実施計画

総合計画の基本構想及び基本計画を推進するため、社会情勢や財政状況、地域の実情等を勘案し、毎年度、市が向こう3年間に取り組むべき具体的な取組を示す。

（2）計画期間

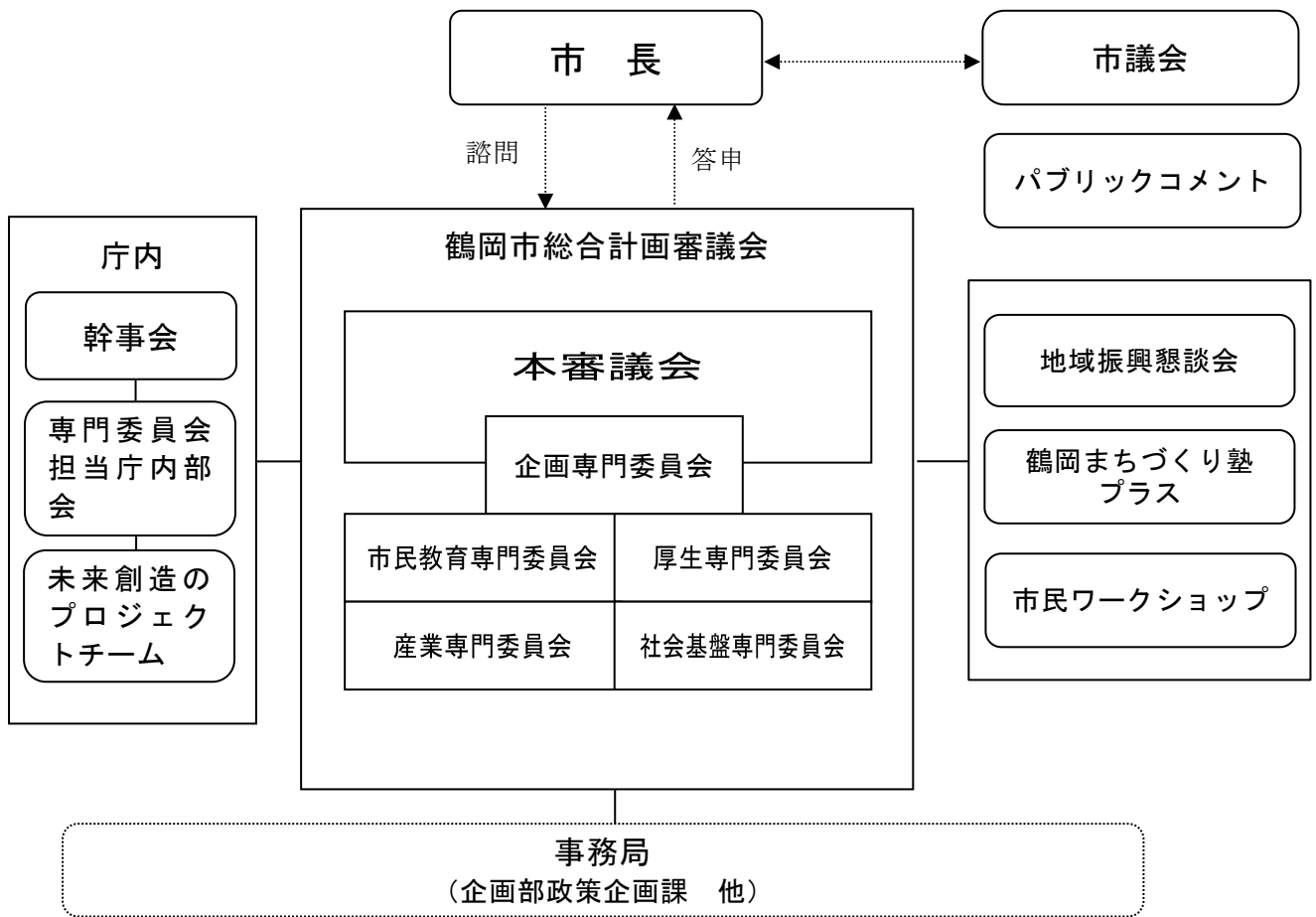
① 基本構想

計画期間は、令和元（2019）年度から令和10（2028）年度までの10年間とする。

② 基本計画

令和5（2023）年度に見直した基本計画を後期基本計画とし、その計画期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とする。

4. 総合計画基本計画の中間見直し検討体制



(1) 総合計画審議会

① 総合計画審議会

鶴岡市総合計画審議会条例第1条に基づき設置し、市議会議員、知識経験者、関係行政機関の職員及び団体の役員、並びに市民の代表者による35名以内の委員で組織する。

市長の諮問に応じ、総合計画の策定に関し必要な調査及び審議を行う。

② 専門委員会

鶴岡市総合計画審議会条例第8条に基づき設置し、各分野における政策課題、主要テーマ、施策の方向性等について、専門的な見地から調査、審議する。

なお、分野横断的な課題等については、庁内関係部署で協議、検討し、必要に応じ専門委員会を合同開催して検討する。

委員は、分野毎で関係団体や専門的見識を有する方などから選任する。

委員長及び委員長職務代理者を置き、委員長については委員による互選により選出し、委員長職務代理者については委員長が指名する。

専門委員会名	所 管 事 項	担当部等
企 画 専 門 委 員 会	市政運営の基本理念等に関する事 専門委員会の総合調整に関する事 まちづくり（公共施設の整備含む）、未 来創造のプロジェクト、デジタル化の推 進、移住・定住の促進、都市交流、国際 化の推進等に関する事	総務部 企画部
市 民 教 育 専 門 委 員 会	地域コミュニティの活性化、過疎地域の 活性化、環境保全対策、防災・防犯対策 の推進、教育・文化・スポーツの振興、 学校給食等に関する事	市民部 消防本部 教育委員会
厚 生 専 門 委 員 会	子育て支援、健康増進、福祉の充実、地 域医療体制等に関する事	健康福祉部 荘内病院
産 業 専 門 委 員 会	農林水産業、商工業、観光の振興、地域 経済の活性化等に関する事	農林水産部 農業委員会 商工観光部
社 会 基 盤 専 門 委 員 会	都市基盤の整備、交通環境の充実、公共 施設の管理等に関する事	建設部 上下水道部

（２）市民の意見の反映

① 地域振興懇談会

旧町村単位で設置されている地域振興懇談会において、各地域の振興方針について意見を聴取する。

② 鶴岡まちづくり塾プラス

若者世代で構成される鶴岡まちづくり塾プラスにおいて、今後の地域づくりに対する意見を聴取する。

③ 市民ワークショップ

多様な市民の意見を反映させるためワークショップを開催する。

④ パブリックコメント

総合計画審議会より答申を受けた総合計画後期基本計画（案）について、ホームページに掲載し、広く市民の意見を募集する。

⑤ アンケート

市民の意見を反映させるためデジタル等を活用し、広く市民の意見を募集する。

(3) 事務局体制

① 総合計画審議会幹事会

副市長以下、次の職にある職員を総合計画審議会幹事とし、幹事をもって幹事会を設置し、審議会事務を総括する。

＜総合計画審議会幹事＞ 27名

副市長、教育長、総務部長、企画部長、市民部長、市民部危機管理監、健康福祉部長、農林水産部長、商工観光部長、建設部長、藤島庁舎支所長、羽黒庁舎支所長、櫛引庁舎支所長、朝日庁舎支所長、温海庁舎支所長、荘内病院事務部長、上下水道部長、教育部長、議会事務局長、消防長、総務課長、総務課主幹、財政課長、職員課長、地域振興課長、政策企画課長、政策企画課主幹

② 専門委員会担当庁内部会

総合計画審議会の専門委員会ごとに担当部課長等による専門委員会担当庁内部会を設置し、基本計画見直し原案の調整等を行う。

各専門委員会担当庁内部会の構成員は、次のとおりとする。

名 称	構 成 員
<p>企画専門委員会 担当庁内部会</p> <p>(事務局：政策企画課)</p>	<p>総務部長、<u>企画部長</u>、各庁舎支所長、総務課長、総務課主幹、財政課長、財政課主幹、職員課長、職員課主幹、デジタル化戦略推進室長、政策企画課長、政策企画課主幹兼若者・子育て世代応援推進室長、食文化創造都市推進課長、地域振興課長、情報企画課長、環境課長、地域包括ケア推進室長、産業強化イノベーション推進室長、都市計画課市民参画のまちづくり推進主幹兼城下のまちづくり推進室長、各庁舎総務企画課長</p>
<p>市民教育専門委員会 担当庁内部会</p> <p>(事務局：コミュニティ推進課)</p>	<p><u>市民部長</u>、危機管理監、消防長、消防次長兼消防署長、教育部長、各庁舎支所長、若者・子育て世代応援室長、食文化創造都市推進課長、地域振興課長、市民課長、コミュニティ推進課長、防災安全課長、環境課長、廃棄物対策課長、廃棄物対策課施設主幹、消防本部総務課長、予防課長、警防課長、管理課長、学校教育課長、学校教育課指導主幹、社会教育課長兼藤沢周平記念館長、社会教育課文化財主幹、スポーツ課長、中央公民館長、図書館長、学校給食センター所長、各庁舎総務企画課長、各庁舎市民福祉課長</p>

<p>厚生専門委員会 担当庁内部会</p> <p>(事務局：地域包括ケア推進推進室)</p>	<p>健康福祉部長、<u>荘内病院事務部長</u>、各庁舎支所長、地域包括ケア推進室長、健康課長、健康課主幹、福祉課長、長寿介護課長、子育て推進課長、子育て推進課主幹兼子ども家庭支援センター所長、国保年金課長、荘内病院総務課長、施設管理主幹、医事課長、各庁舎市民福祉課長</p>
<p>産業専門委員会 担当庁内部会</p> <p>(事務局：商工課)</p>	<p>農林水産部長、<u>商工観光部長</u>、各庁舎支所長、農政課長、循環型農業推進主幹、生産振興主幹、農業委員会事務局長、農山漁村振興課長兼水産振興主幹、林業振興主幹、商工課長、商工企画主幹、産業強化イノベーション推進室長、観光物産課長、各庁舎産業建設課長</p>
<p>社会基盤専門委員会 担当庁内部会</p> <p>(事務局：都市計画課)</p>	<p><u>建設部長</u>、上下水道部長、各庁舎支所長、都市計画課長、市民参画のまちづくり推進主幹兼城下のまちづくり推進室長、鼠ヶ関IC周辺施設整備推進室長、土木課長、地域調整主幹、建築課長、上下水道部総務課長、水道課長、下水道課長、下水道課主幹兼浄化センター所長、工務主幹、契約管財課長、地域振興課長、情報企画課長、各庁舎産業建設課長</p>

※各部会に部会長及び部会事務局を置き、部会の事務を統括する。

5. 後期基本計画 策定スケジュール (別紙1参照)

総合計画後期基本計画の策定については、総合計画審議会において令和5年12月を目途に取りまとめ、令和6年3月までの策定を目標として進めることとする。

総合計画後期基本計画策定全体スケジュール(案)

月	市	庁内検討部会			市民からの意見徴取
		審議会	企画専門委員会	各専門委員会	
R4/10	幹事会 ○審議会委員の選任 ○各専門委員会委員の選任	第1回 ・ 審問 (第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて)			
11					
12			第1回 ・前期基本計画の評価・検証 ・後期基本計画策定の視点等について	第1回 ・委員長選出 等 ・前期基本計画の評価・検証 ・後期基本計画策定の視点等について	アンケート調査 ・中高生の市政への参画意向
R5/1	幹事会				鶴岡まちづくり塾プラス ・意見募集
2	市議会議員への説明 ・前期計画の評価・検証		第2回 ・今後5か年の施策の方向性等について ・未来創造のプロジェクトについて	第2回 ・今後5か年の分野別施策の方向性等について	市民フォーラム
3		第2回 ・今後5か年の施策の方向性等について ・未来創造のプロジェクトについて			第1回地域振興懇談会 ・前期基本計画の評価・検証 ・今後5か年の施策の方向性等について
4			第3回 ・施策の方向、重点施策(案)等について ・未来創造のプロジェクトの構成素案について	第3回 ・大綱別の施策の方向、重点施策(案)等について ・総合計画後期基本計画の体系(案)について	第1回ワークショップ
5					鶴岡まちづくり塾 ・意見募集、とりまとめ
6			第4回 ・総合計画後期基本計画の構成素案について ・未来創造のプロジェクト(素案)について		第2回ワークショップ
7	幹事会	第3回 ・総合計画後期基本計画の構成素案について ・施策の方向、重点施策(案)等について ・未来創造のプロジェクト(案)について		第4回 ・総合計画後期基本計画の(素案)について	第2回地域振興懇談会 ・地域別の施策の方向、重点施策等について
8	市議会議員への説明		第5回 ・総合計画後期基本計画の(素案)について		第3回ワークショップ
9	幹事会	第4回 ・総合計画後期基本計画の(素案)について		第5回 ・総合計画後期基本計画の(案)について	第3回地域振興懇談会 ・総合計画後期基本計画の(素案)について
10			第6回 ・総合計画後期基本計画(案)について		第4回地域振興懇談会 ・総合計画後期基本計画の(案)について
11	幹事会	第5回 ・総合計画後期基本計画(案)について			
12		・ 審査 (第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて)			
R6/1	市議会議員への説明				
2					パブリックコメント
3	第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の策定				